

# ネズミホソバ

*Pelosia angusta* (Staudinger)

チョウ目ヒトリガ科

石川県カテゴリー 情報不足

国カテゴリー なし

## 選定理由

全国的な希少種で、既知の生息地、個体数はともにきわめて少ない。

## 形態

開張16mm前後の小型のガである。ハネは褐色で、前翅の中央に弱い横線が走っている。

## 国内分布

北海道、栃木県、石川県、島根県、隠岐島、対馬、長崎県から記録されているに過ぎない。

## 県内分布

1987年8月に小松市金平で得られた1♂が本県唯一の記録である。

## 生態

成虫が5月（栃木県）、7～8月（島根県、石川県）に得られていること以外、生態はわかっていない。幼虫は地衣類を食しているものと思われる。

## 生息地の条件

これまでに本種が得られた環境は、低湿地、草地、林地などさまざまであり、生息制約要因は不明である。

## 生存の危機

本県の生息地は里山であり、現在もその環境は採集当時とほとんど変わっていない。今後も生息地の環境保全が重要である。

## 特記事項

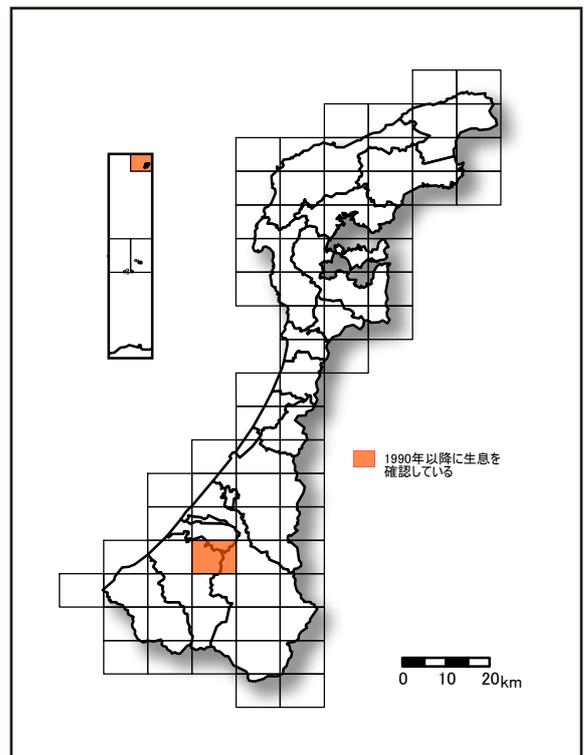
採集地区周辺の再調査が必要である。

## 参考文献

富沢 章 1998. 蛾類. 石川県の昆虫 : 366-486. 石川県自然保護課.



標本提供者: 富沢章



県内の分布